



留学生による科学英語の指導！

昨年度より取り組んでいます第IV期SSH事業では、将来の国際的に活躍できる科学技術人材の育成を目指して、英語によるプレゼンテーションの作成とレポートの英語翻訳に取り組んでいます（理数科3年生、青鵲課題研究AP）。加えて、多様な価値観をもつ国や地域の文化等に関して深く理解し、言語の壁を越えて協働することの大切さを学ぶため、今年度は佐賀大学の博士過程（前期・後期）の留学生の皆さん15名（+大学の先生方2名）にお越しいただきました（4月から6月まで、全6回）。指導はすべてオールイングリッシュで行われたため、生徒たちは自分たちの『思い』をどうにかして伝えようと、時にはジェスチャーを交えながら一生懸命に説明をしていました。また、留学生の皆さんも本校の生徒たちに大変優しく接していただいて、まさに新学習指導要領が目指す主体的・対話的で深い学び（アクティブラーニング）が行われていました。こういった活動ができるのもSSHだからこそです。生徒のみなさんは貴重な経験ができたことに感謝しつつ、皆さんの将来に役立ててほしいと願っています。



留学生による英語指導（医療系）

令和5年4月28日（金）



留学生による英語指導（化学・農学）

令和5年5月19日（金）



留学生による英語指導（数学・情報）

令和5年6月9日（金）



留学生による英語指導（最終回、花束と色紙贈呈）

令和5年6月30日（金）

